



側面の壁をまっすぐに伸ばしたことで、裏側から見ると窓のない真四角な建物に見える武田邸。写真は底側から見たもので、中央にガレージを配置した3LDKになっている。

コレクタブルな名車のために建築された 2輪・4輪マニアのビルトインガレージ

マニア垂涎的となるような愛車を手に入れたら、次にすべきことは保管場所を悟られないためのガレージ作りだ。名車“スカイラインGT-R”を愛する二人が企てたガレージは、公道面には開口を極力配置せず、まるで倉庫のような意匠とすることで、貴重な愛車をしっかりと守る防犯対策にも長けた設計となった。



Garage Owner
Shinya Takeda

自動車販売店に勤務しているというオーナーの武田さんは、GT-Rの前は180SXを所有していたという根っからの日産党。長い間、オリジナルに近く、程度のいい32型GT-Rを探していたそうで、念願叶って手に入れることができた。愛車は他にも4台のバイクなど。写真は1969年式のホンダCB750に跨る武田さん。



公道側からは倉庫のように見える 秘匿性の高いガレージ設計

32型GT-Rといえばクルマ好きなら誰でも一度は憧れた日本を代表するスポーツカーだ。「ハコスカ」で知られる初代モデルのPGC10/KPGC10型（総生産台数2029台）や、「ケンメリ」と呼ばれた2世代モデルのKPGC110型（総生産台数197台）と比較すれば、その生産台数は4万台以上と多く、一時期は予算さえ合えば手に入れることはあまり難しいモデルであった。

もっとも、生産終了から20年以上の歳月が経った現在では、年々入手が難しくなっており、特にコンディションの良い個体は極めて希少だという。

愛知県半田市に住まいを構える武田さんの愛車は、長年夢に描いてきたその「32 GT-R」だ。3年前に手に入れた車両は1992年型で、購入時のオドメーターは7万km。当時はほぼオリジナルの状態、そこぶる程度のいい個体だった。

こうして手に入れた夢のクルマだが、次に困ったのがその保管場所である。人気の高いクルマだけに盗難対策も含めてガレージ保管は必須。32GT-R以外に新旧のバイクも数台所有していることから、これを機会に自宅を新築することを決めたという。

建築を依頼したのは地元・愛知県半田市で建築業を営む「岩橋建築」。本誌でも何度か建築事例を紹介させていただいているが、「岩橋建築」はガレージ建築のスペシャリストである上、代表の岩橋さん自身がGT-R (KPGC10) を所有しているという生粋のカーマニア。「GT-R」というキーワードで繋がったふたりが、理想の愛車に相応しいビルトインガレージを完成させることになったのだ。

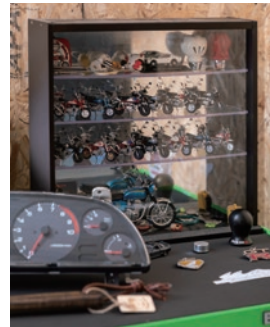
ちなみに建築にあたって考慮したのは公道面からの秘匿性だったという。「公道に面した方がクルマの出入りはしやすいのですが、ガレージの中が覗かれてしまうのを嫌って、公道とは逆側にガレージなどの開口を配置してもらいました」と武田さんは語る。

その言葉通り、庭側に回って正面を向くと、住まいの中央にガレージの開口部がある。内部は一部に中二階を設けた二層式になっており、下層はバイクの収納場所、上層は将来、愛車を眺めるリラクスペースとして設備を充実させることを考えているそうだ。

「居室内からガレージを見渡せるように、リビングには大きなFIX窓を設置するなど、クルマ好きの琴線に触れる家になりました」とは建築を担った岩橋さん。

一方の武田さんは「今後は庭の一角に整備用のガレージも建築しようと思っているんです」と、早くも新たな夢の実現を企てている。

ツールボックスの上には2輪・4輪のミニチュアがきれいにディスプレイされている。



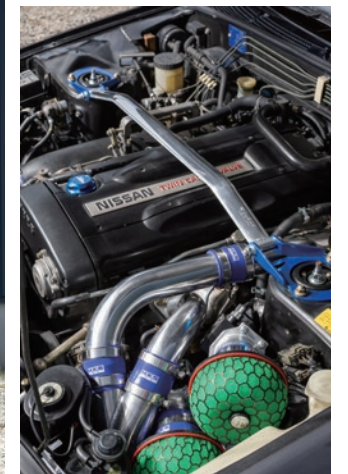
中二階の下層がバイクの収納スペース。コレクタブルな1969年式ホンダCB750Iに加え、ホンダCBR1000WRや2台のモンキーなど、2輪はホンダ完だ。

自宅に設けたガレージはあくまでも車両の保管用。整備を行うと汚れるため、敷地内に整備専用ガレージの建築も計画 중이다。

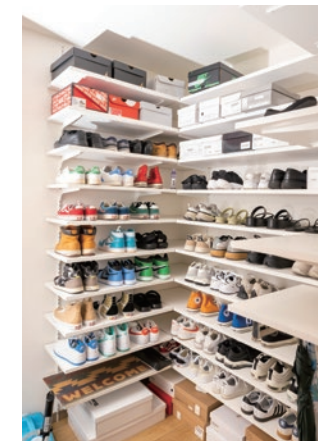


1992 Nissan Skyline GT-R

歴史上3世代目となるスカイラインGT-R。型式名から通称“32 GT-R”は、昭和～平成にかけて人気を誇った名車として知られる。新車販売の終了後は年々状態のよい個体が減り続け、現在はコンディションのいい車両を見つけるのは至難の業だという。武田さんはこのGT-Rを週末のドライブ用に使用しており、ライトカスタムを楽しんでいる。



トグル型のスイッチ類もオーナーの武田さんの要望。工業機械を想像させる造形が気に入っているポイント。



家族の靴が並んだシューズクローゼット。アパレル関係にお勤めという奥様と、カジュアルファッションが好きだという武田さんのスニーカーがずらりと並ぶ。



ガレージ内中二階のロフト部から見下ろした景観。ビルトインガレージは、あくまでも愛車を眺める場所。これからディスプレイを追加して、威心地の良い空間へと仕上げていくという。



当初は独立型のガレージも考えたが、「リビングから愛車を眺めたい」という武田さんの要望でビルトインガレージに変更。リビングに設置されたFIX窓はあくまでもガレージを見渡すためのもので、開閉は不可。居室内からガレージへの出入りには別の専用ドアを設けている。